

WHO ファクトシート

エキノкокクス症

Echinococcosis

2017 年 3 月

重要な事実

- ・人のエキノкокクス症は、エキノкокクス属の条虫によって引き起こされる寄生虫疾患である。
- ・人での主要 2 形態は、嚢胞エキノкокクス(包虫症)と肺胞エキノкокクスである。
- ・人トは、汚染された食物、水、土壤の中の寄生虫の卵を摂取することや、動物宿主への直接的接触を通じて感染する。
- ・エキノкокクス症は、治療が高価で複雑になることが多く、大がかりな手術や長期の投薬治療を要することがある。
- ・予防プログラムは、最終的な宿主である犬及び羊の駆虫を中心に行う。嚢胞エキノкокクス症の場合には、制御手段に食品監視の強化、食肉処理場の衛生改善、公共教育キャンペーンも含まれる。子羊のワクチン接種も追加的介入として評価されている。
- ・常時 100 万人以上がエキノкокクス症に罹患している。
- ・WHO は、2020 年までの効果的な嚢胞エキノкокクス制御戦略の検証に向けて取り組んでいる。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい。

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Echinococcosis ファクトシート原文は [こちら](#)